

授業科目名 (英文表記)	紀州郷土学2D -地域資源の発掘と活用- ( Kisyu hometown study 2D)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	出口竜也、竹林浩志		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	10月 1日 (土) 13:00~17:00 (担当: 竹林)		
	10月 8日 (土) 13:00~17:00 (担当: 出口)		
	10月15日 (土) 13:00~17:00 (担当: 竹林)		
	11月26日 (土) 13:00~17:00 (担当: 出口、竹林) ゲスト: 杉山		
	12月17日 (土) 13:00~17:00 (担当: 出口、竹林) ゲスト: 田中、杉山		
	1月28日 (土) 13:00~17:00 (担当: 出口) ゲスト: 田中、杉山		

【授業のねらい・概要】 紀州郷土学2では、紀伊半島（和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする）地質地形、気候、生物、文化、歴史、自然環境、郷土の学習、保全保護から「郷土：紀伊半島」を考えます。本科目では地質地形の上にある人々の営みが現在の紀伊半島の多様性をもたらしていることと、それらを活用して持続可能な地域経営につなげることの重要性を学びます。また、紀伊半島の地域資源の発掘と活用を促進するとともに、それらをインターネット上で編集、発信する手法を習得することが本科目のもう一つの目的となります。学生、地域づくり、観光関係、地域ガイド、ジオ活動者、教育関係者、UI ターン者など、さまざまな分野の方々からの受講をお待ちしています。

【授業計画】

第1回 地域資源の活用①戦略的視点から

戦略論の視点から紀伊半島の発展に資する地域資源の活用法について多面的に学びます。

第2回 地域資源の活用②顧客の視点から

顧客の視点から紀伊半島の地域資源の魅力と可能性を評価するとともに、売るための仕組みについて学びます。

第3回 地域資源の活用③生活と文化

紀伊半島ならではの生活と文化について、その商品化による活用の重要性について学びます。

第4回 地域資源の発掘と評価①「地域の魅力をデジタルデータで（地域資源を）保存し、世界に発信する」

発掘した地域資源をインターネット上に記事として発信するための準備作業を行います。その際、Localwiki（地元の知恵や歴史を地図や写真を使って記事にできる仕組み）と OSM（世界地図の一部として、紀伊半島の地図を書き加えられるしくみ）を活用します。Localwiki のアカウント登録（ユーザ登録）やライセンスについて学び、自分の文書とネット上の資料を引用した記事の作成を行う準備をします。慣れない方でもわかるようにゆっくりと進めます。アカウントの登録後に、自ら発掘したテーマ、写真データをもとに実際に入力作業を行います。

第5回 地域資源の発掘と評価②「いままで学んだ地域資源と地元の思いが、より伝わる編集を学ぶ」

受講生の皆さんが書いた記事を、評価し合い、完成させていきます。その際、発掘した地域資源は「何か」、それを誰に一番「伝えたいか」がわかりやすく「伝わる」文章の書き方を学んでいきます。余力があれば、複数の記事を書く、他の受講生の記事と関連付けるなど、発信の厚みをつけていきましょう。

第6回 地域資源の発掘と評価③「整理成果発表：地元の総合力で、さらにテーマを追求し、二次利用を誘発する」

受講生の皆さんが書いた記事を、再編集して大きなグループにしていきます。その際、場所、テーマ、ルートごとにまとめ直し、より強いメッセージの発信や、何らかの企画の立案に結びつかないかについても考えていきます。また、他のメディアでの発信や供給、授業を終わった後も継続的に発信を楽しむためのコツについても学びます。

【到達目標】 紀伊半島の地域資源について考え、自らの言葉で語り、興味に基づき自ら文献等を調べることができる。

【教科書・参考書】 特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【成績評価方法】 出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学習】 紀伊半島の地域資源活用のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。

事前学習 <https://ja.localwiki.org/main-ja/> <https://ja.localwiki.org/tb/> <http://openstreetmap.org/>  
<http://tekutekutanabe.kiiminpo.jp/cnts/point/?gr=11>

Guide (Japan) - LocalWiki ご自分の街のリージョンがありましたら、そこに記事を書いたり、他の方の記事の編集をしたりしてください。詳細は、サイト内の「ページ作成と編集」をごらんください。 [ja.localwiki.org](http://ja.localwiki.org)

【履修上の注意・メッセージ】 基礎知識がなくても理解できるよう授業を構成しますが、各自で入門書、上記 URL を参照して理解を深めてください。郷土の地形地質や地域産業が、地域の暮らしにどうつながるのか考えてみてください。特に前年度までの紀州郷土学受講生は、学んだ知識と暮らしの関連性と活用について考えてみてください。